

教材教具名 器械体操がんばり表

教科 ( 体育 )

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 体育での活動内容を知り、課題に頑張って取り組む。
- 2 発達段階など 自閉症児で学習の見通しがもちにくい児童
- 3 使い方
  - ① 前時で出来たことや出来そうなことを写真やイラストをはった表をつくる。
  - ② 学習時に表を本人に渡し、本時に頑張ること課題を知らせる。
  - ③ 5～6の課題の中から自分で選択させて取り組ませる。
  - ④ 課題が出来たらシールを渡し、頑張り表に貼らせる。
  - ⑤ ③④を繰り返す。
  - ⑥ 頑張り発表時に自分の頑張り表の中から発表したい演技を選ばせる。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

この表は、一人ひとりの課題に応じて毎回写真をかえて、頑張り表を作った。教員側の毎回作る手間はあるが、学習において、児童に見通しをもたせることや児童が頑張る動機つけにもなり大いに役立っていた。

器械運動は動きもあるので1枚の写真だけではボディーイメージを持ちにくいので、表とは別に動きの分かるイラストを使ったり、手の位置足の位置を視覚的に分かるように手形足形を置くなどの工夫もした。